

エボニック、新たなイノベーション戦略で 15 億ユーロの追加売上を目指す

2024 年 9 月 27 日

- ・ 「バイオ由来ソリューション」、「エネルギー転換」、「循環型経済」を新たなイノベーションの成長分野として設定
- ・ 2032 年までに 15 億ユーロの追加売上を目標に掲げる
- ・ イノベーションの成長分野は、エボニックの事業に密接に関連するサステナビリティのトレンドに対応

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

スペシャルティケミカルカンパニーのエボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)は、業界におけるグリーントランスフォーメーションを推進しています。今回策定した新たなイノベーション戦略では、サステナビリティ対応の強化を掲げ、研究開発活動の大部分を 3 つの新しいイノベーション成長分野に集中することで、2023 年と比較して 2032 年までに 15 億ユーロの追加売上を目指しています。

取締役会副会長ハラルド・シュヴァーガー(Harald Schwager)は、「エボニックの新しいイノベーション戦略は、サステナブルな製品やソリューションが、どのように当社の今後の成長を強力に支え、同時にお客様のエコロジカル・フットプリント削減にどう貢献していくかを提示しています」と述べています。

新たなイノベーション成長分野では、「バイオ由来ソリューション」、「エネルギー転換」、「循環型経済」にフォーカスしています。チーフイノベーションオフィサーを務めるラルフ・マルクワルト(Ralph Marquardt)は、「エボニックの技術で、価値ある未来を作っていきます。この 3 つのイノベーション成長分野は、当社の事業に密接に関連するサステナビリティのトレンドに対応しています」と述べています。

「高精度バイオソリューション(Advance Precision Biosolutions)」では、エボニックの科学者がバイオテクノロジーを駆使して、健康と生活の質の向上、エネルギーや資源の使用削減、生態系の保護に寄与するソリューションを開発しています。その中にはラムノリピッドのような最新のバイオサーファクタントも含まれます。エボニックは 5 月、スロバキアでこの新たなバイオサーファクタントを工業規模で生産する世界初の工場を稼働させました。また、ラムノリピッドの他分野への応用の開発も進めています。

「エネルギー転換促進(Accelerate Energy Transition)」には、二酸化炭素をプロセスから出る排気ガスや直接空気から回収するソリューションなど、エネルギー転換を加速する技術を結集しています。また、オーストリアのシェル

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

フリングでは、バイオメタンなどのガスを浄化する分離膜を製造しています。この工場は 2023 年にすでに拡張が完了し、現在、新たな拡張工事を行っています。さらに水素製造用の分離膜に関連したソリューションの研究も行っています。

「サーキュラーエコノミーの実現 (Enable Circular Economy)」には、エボニックが取り組む循環型経済の実現に向けた全研究プロジェクトを統合しています。この分野では、材料サイクル構築のサポートを目的とし、お客様の循環型経済への移行を可能にします。例えば、高度な触媒リサイクル技術や、ポリウレタンやゴムのリサイクルを向上させるソリューションなどが挙げられます。

マルクワルトは、「研究開発はすでに当社の成長に大きく寄与しており、この傾向は新しい成長分野にも引き継がれるでしょう」と述べています。新たなイノベーション成長分野は、エボニックが 2015 年に策定しこれまでに取り組んできたイノベーション成長分野の成功を基盤としています。

従来のイノベーション成長分野では、ヘルスケア、化粧品、積層造形 (アディティブマニュファクチャリング) 向けの持続可能なソリューションなどに取り組むことで、10 年以内に 10 億ユーロの追加売上を目指してきました。2023 年には、すでに 6.5 億ユーロを上回る追加売上を実現しています。シュヴァーガーは、「近年の激動を考慮すると、これは好成績であり、今後につなげることができるものです。世界的なパンデミック、ヨーロッパ内での侵攻など、9 年前には誰も予想していなかった出来事が起きました。このような前例のない困難に直面したにもかかわらず、目標に近づけたということは、当社が適切なテーマに注力したことを証明しています」と述べています。

2023 年、エボニックは厳しい経済状況下でありながら、研究開発費を前年並みの 4.43 億ユーロに据え置きました。このうちの一部はエボニックの戦略的研究部門及びビジネス・インキュベーターであるクレアビス (Creavis) に割り当てられましたが、大半は化学品部門の研究に費やされました。2023 年の売上高に対し研究開発費の占める割合は、2.9%でした。

エボニックにとって、イノベーションとサステナビリティは未来志向のビジネスモデルの根幹をなす要素です。そのため、自社だけでなくお客様の活動においてもグリーントランスフォーメーションの推進に大きく貢献できるよう、引き続き研究開発に注力していきます。

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、100か国以上で事業を展開するスペシャルティケミカルの世界的リーダーの1つです。2023年度は、153億ユーロの売上、16.6億ユーロの営業利益（調整後EBITDA）を計上しました。

革新的で収益性の高い持続可能なソリューションをお客様に提案するために、私たちは化学のその先を目指します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、約 32,000 人の社員が働いています。

アジア・パシフィック・リージョンについて

エボニックは、世界経済を牽引し、イノベーションの宝庫であるアジア・パシフィック・リージョンで更なるビジネスの成長を目指しています。2023年度は、31.6億ユーロの売上を計上し、50以上の製造拠点で5,000人以上の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2024年9月17日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)